

a-64	b-47	c-27
------	------	------

常時行なえる施設は 46%、時間帯によっては行なえる施設が 34%、出来ない施設が 20%であった。点滴は基本的な治療手技なのでもう少し改善していく必要があると思われる。

6.1.2 外来に感染疾患のための隔離室がある。

- a - はい
- b - 隔離できる場所がある。
- c - いいえ

a-28	b-39	c-71
------	------	------

半数以上の施設で隔離できる場所を持っておらず、おそらく隔離のためだけに使用する部屋の確保は不合理であり、各施設とも余裕のない広さで診療を行っている状態であろうと思われる。

6.1.3 小児看護に優れた看護師がいる。

- a - 時間帯によらず勤務している。
- b - 時間帯によってはいる。
- c - いいえ

a-23	b-54	c-61
------	------	------

三次救急施設でも十分な対応はしていない現状が把握できる。

6.1.4 直ちに参照できる場所に中毒に関する教科書を常備している。

- a - はい
- c - いいえ

a-89	c-46
------	------

三分の一の施設では常備しておらず、中毒に関する認識は低いと思われるが、6.1.5 の設問の結果を見ると教科書の常備は不必要なのかもしれない。

6.1.5 中毒情報センターに問い合わせを迅速にできる。

- a - はい
- c - いいえ

a-122	c-13
-------	------

この設問に対する回答は良好で、中毒情報センターを十分に活用していることがわかる。

6.1.6 近隣に小児疾患を受け入れる小児科標榜施設があり、小児科専門医と連携でき

る。(東京都指定二次救急の小児科に参画していない施設のみ対象)

- a - 時間帯によらずできる。
- b - 時間帯によってできる。
- c - できない。

a-82	b-29	c-8
------	------	-----

aの回答が69%と高く、いつでも小児科専門医と連携できる状態にあると思われる。

6.1.7 小児薬用量の本が置いてあり、すぐ参照できる。

- a - はい
- c - いいえ

a-107	c-27
-------	------

どの施設も小児を診察する場合も多々あるためか、aの回答が多かった。

6.1.8 皮疹についての参考書または診断プロトコルがある。

- a - はい
- c - いいえ

a-78	c-56
------	------

皮疹についての本を持たない施設が42%と多かった。小児の皮疹を訴えて来院する患者も多く、診断にも重要なためもう少し常備してほしい。

6.2 小児科脳神経救急

6.2.1 痙攣に対する診療指針がある。

6.2.1.1 痙攣患児を積極的に受け入れている。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-44	b-43	c-50
------	------	------

a、b、cともほぼ同数の回答であり、積極的に受け入れられていない様子がわかる。

6.2.1.2 痙攣診療のプロトコルを持ち、それに準じて治療している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-43	b-33	c-60
------	------	------

6.2.1.1の回答を反映した結果である。

6.2.1.3 痙攣について小児専門医が直接診療するかいつでも相談できる。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-43	b-40	c-51
------	------	------

痙攣について小児専門医が診察したり相談を受けたりする場合は多くはない。もしかしたら神経内科医への相談も考えられる。

6.2.2 意識障害の患児が救急室に運ばれてきた場合を想定して。

6.2.2.1 意識障害のある患児に直ぐに酸素投与を開始している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-99	b-13	c-17
------	------	------

基本的な治療のため多くの施設で行われている。

6.2.2.2 意識障害のある患児には直ぐにパルスオキシメーターを装着している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-108	b-10	c-14
-------	------	------

ほとんどの施設で行われているが、行われていない施設が10%あった。

6.2.2.3 舌根に沈下があれば気管内挿管ができる。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-85	b-29	c-18
------	------	------

常時、挿管が出来る施設が64%である。挿管が出来るか否かは直ちに死につながる事なので小児を診察する医師は挿管が出来る技術を身につけてほしい。

6.2.2.4 到着から10分以内に血糖値を測定している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-86	b-27	c-18
------	------	------

意識障害の全ての患者に血糖測定は必要というわけではないが、多くの施設では行っているようである。

6.2.2.5 意識レベル (JCS または GCS 小児用スケール) をカルテに記載している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-99	b-14	c-17
------	------	------

各施設ともよく行われている。

6.2.2.6 麻痺の有無と瞳孔所見についてカルテに記載している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-104	b-15	c-12
-------	------	------

各施設ともよく行われている。

6.2.2.7 必要があれば人工呼吸器管理とモニタリングが出来る集中治療室に収容する。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-59	b-16	c-55
------	------	------

施設の半数は小児の集中治療室をもたないか、小児の看護に慣れた看護師がいない常態をあらわしていると思われ、三次、参画A、非参画Aのような規模の大きな施設ではaの回答が100%である。

6.2.3 痙攣および意識障害急性期の全身管理について。

6.2.3.1 痙攣が続いている患児にはジアゼパムの静脈または座薬投与を直ぐに行っている。(0.3~0.5mg/Kg)

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-80	b-31	c-18
------	------	------

ジアゼパンは痙攣の初期治療として良く使用されている。

6.2.3.2 上記で痙攣が止まらない時フェニトインを静脈投与している。

(15mg/Kgを15分以上かけて)

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-55	b-38	c-36
------	------	------

6.2.3.1 の回答に比べて、a の回答数が著しく少なくなる。おそらく他の施設に転送するためと思われる。

6.2.3.3 上記の場合呼吸停止に備えて補助換気の準備を時間帯によらず行っている。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-71	b-29	c-30
------	------	------

多くの施設で行われており、抗痙攣剤による呼吸停止の副作用は良く認識されている。

6.2.4 脳炎、髄膜炎への対処

6.2.4.1 腰椎穿刺による髄液採取により髄膜炎の診断を行うことができる。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-57	b-61	c-18
------	------	------

a、b の回答数は 87% であるが、a の回答数は 42% で主に三次、参画 A、非参画 A の施設では常時行なうことができる。

6.2.4.2 髄液所見に基づいて標準的な empiric therapy を行っている。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 時間帯によって行っている。
- c - 行っていない。

a-56	b-55	c-24
------	------	------

6.2.4.1 の設問と重複するところがあるため、回答結果も同様であった。

6.2.4.3 抗生剤投与前に血液、髄液培養を提出している。

- a - 時間帯によらず行っている。
- b - 施行するが不完全（どちらか一方 etc）。
- c - 行っていない。

a-64	b-53	c-19
------	------	------

6.2.4.1 の設問と重複するところがあるため、回答結果も同様であった。

6.2.4.4 脳炎を疑い脳波検査ができる。

- a - 時間帯によらずできる。
- b - 時間帯によってはできる。
- c - できない。

a-33	b-68	c-34
------	------	------

脳波は出来ない施設が 25%あり、常時出来る施設は少なく、時間帯によっては出来る施設が多かった。緊急時に脳波検査まで行う余裕がないためかもしれない。

6.2.4.5 脳浮腫を疑い頭部 CT を行うことができる。

- a - 時間帯によらずできる。
- b - 時間帯によってはできる。
- c - できない。

a-103	b-19	c-14
-------	------	------

脳波検査より各施設とも高率に行っている。CT はポピュラーな検査になっている。

6.3 小児科呼吸器疾患

6.3.1 救急室に、気道確保に用いる全ての器具（エアウェイ、アンビューバックとマスク挿管チューブ、喉頭鏡の新生児も含めた小児用全サイズ）が常備されている。（尚、12歳以下は外科的甲状輪状間膜切開術の適応はない。ACLS より）

- a - 全サイズの器具が常備。
- b - 全サイズはない。
- c - ない

a-58	b-41	c-29
------	------	------

三次、参画A、非参画Aでは高率にそろえられているがその他の施設では不完全である。

6.3.2 胸部 X-ray を撮影できる。

- a - 時間帯によらず撮影できる。
- b - 時間帯によっては撮影できる。
- c - できない。

a-110	b-19	c-5
-------	------	-----

ほとんどの施設で常時行うことができる。

6.3.3 救急室にパルスオキシメーターが常備されている。

- a - はい
- c - いいえ

a-119	c-13
-------	------

パルスオキシメーターはほとんどの施設に常備されている。

6.3.4 動脈血液ガス分析ができる。

- a - はい
- c - いいえ

a-125	c-8
-------	-----

血液ガス分析器はほとんどの施設で常備されているが、この設問では小児の動脈血の採取の可否は不明である。

6.3.5 救急室に人工呼吸器が常備されている。

- a - はい
- c - いいえ

a-68	c-63
------	------

回答の結果より救急室に人工呼吸器が常備されている必要はないと考えている施設が半数はあると思われる。

6.3.6 喀痰や血液培養の検査を行うことができる。

- a - はい
- c - いいえ

a-103	c-25
-------	------

おおむね行うことができるが、出来ないと答えた施設が19%あった。

6.3.7 一般細菌の検査（グラム染色を含む）を行うことができる。

- a - はい
- b - 時間帯によっては施行できる。
- c - いいえ

a-52	b-61	c-20
------	------	------

この設問の主旨がうまく伝わらなかった可能性があるが、一応出来ると答えた施設が多かった。

6.3.8 テオフィリンの血中濃度を測定できる（簡易測定キットでも可）。

- a - はい
- b - 時間帯によっては施行できる。
- c - いいえ

a-51	b-52	c-30
------	------	------

a、bは半々で合わせて77%であるが、出来ない施設も23%ある。小児の喘息は救急で来院することが多いため、出来れば簡易キットでも備えてあげられる。

6.3.9 上気道閉塞による窒息患児に甲状輪状間膜穿刺を施行できる、または上気道異物を喉頭鏡、マギール鉗子を用いて除去できる。

- a - 全ての医師が施行できる。
- b - 一部の医師が施行できる。
- c - いいえ

a-28	b-69	c-34
------	------	------

aの回答は21%と低く、一部の専門医による処置であると認識される。三次でも出来ない施設は多かった。

6.3.10 喘息患者の初期治療にはβ2刺激薬の吸入治療を第一選択としている。

- a - はい
- c - いいえ

a-102	c-24
-------	------

β2刺激剤の吸入はどの施設でも喘息患者に対して第一選択にしている。

6.3.11 喘息患者にテオフィリンを投与する場合には、すでに投与されているか否かを確認し、あるいは血中濃度を確認してから投与している。

- a - はい
- c - いいえ

a-94	c-31
------	------

75%の施設ではaと回答し、25%はcと回答している、テオフィリン中毒を防止するため、患者に問診すれば済むことなので直ぐに改善できる事項である。

6.3.12 喘息患者にテオフィリンを静脈投与する場合には、十分に時間(20分以上)をかけて(経口投与がされている場合は、3~4mg/Kg、経口投与がされていない場合は、4~6mg/Kg)投与している。

- a - はい
- c - いいえ

a-115	c-13
-------	------

テオフィリン投与に関しては各施設とも十分な治療を行っている。

- 6.3.13 喘息患児にテオフィリンの維持量を行う場合の年齢による量的な目安の知識がある。(2～6ヶ月 0.5mg/kg/h、6ヶ月～1歳 0.6mg/kg/h、1～2歳 0.8mg/kg/h、2～15歳 0.8～1.2mg/kg/h、15歳以上 0.7～0.9mg/kg/h)

- a - はい
c - いいえ

a-94	c-32
------	------

75%の施設ではaの回答であり、25%はcの回答で、比較的良好な結果であると思われる。

- 6.3.14 喘息患児が初期治療に反応しない場合には、早期にステロイド静脈投与をする。

- a - はい
c - いいえ

a-103	c-22
-------	------

喘息に対するステロイドの使用は各施設とも良く行われている。

- 6.3.15 アナフィラキシーによる呼吸困難には、エピネフリンの皮下投与をする。(0.01ml/kg 小児上限0.3ml)

- a - はい
c - いいえ

a-111	c-16
-------	------

この設問に対しても各施設良く対応している。

- 6.3.16 入院を要する肺炎患児には、抗生剤の投与前に喀痰や血液の培養を施行する。

- a - はい
b - 時間帯によっては施行する。
c - いいえ

a-71	b-31	c-25
------	------	------

時間帯の条件がなければ、各施設十分に行っている。しかしcの回答も約20%あった。

- 6.3.17 入院を要する肺炎患児には、培養施行後すみやかに抗生剤を投与している。

- a - はい
c - いいえ

a-105	c-21
-------	------

ほとんどの施設では行われているが、16%に行っていない施設もある。

6.3.18 肺炎患児では異物（ピーナッツ、アーモンド）による原因も考慮している。

- a - はい
- c - いいえ

a-113	c-13
-------	------

肺炎患児の異物による原因も十分に考慮されている。

6.4 小児科腹部救急

6.4.1 腹痛ないし急性腹症の患児を受け入れている。

- a - はい
- c - いいえ

a-80	c-49
------	------

aの回答が62%、cの回答が38%で積極的に受け入れられているとは思えない。

6.4.2 基本的な診療指針が明示されている。

6.4.2.1 初診医の目安となる診療ガイドライン（文書）がある。

- a - ガイドラインをしめしている。
- b - 検討中である。
- c - ガイドラインはない。

a-25	b-34	c-71
------	------	------

ガイドラインを有する施設は少なく、経験のある医師が診察にあたっているか、何らかの理由でガイドラインは必要ないのかもしれない。

6.4.2.2 緊急に血算、血液生化学、動脈血ガス分析の検査が出来る。

- a - はい
- b - 時間帯によってはできる。
- c - いいえ

a-102	b-24	c-7
-------	------	-----

ほとんどの施設で検査は出来る。

6.4.2.3 超音波検査を実施できる。

- a - はい
- b - 時間帯によってはできる
- c - いいえ

a-86	b-41	c-6
------	------	-----

超音波検査も各施設高率で施行できるが、時間帯によるが31%を占める。

6.4.2.4 緊急にX線検査を実施できる。

- a - はい
- b - 時間帯によってはできる。
- c - いいえ

a-114	b-16	c-3
-------	------	-----

この検査は各施設あまり差がなく高率でできる。

6.4.2.5 緊急に腹部CT検査を実施できる。

- a - はい
- b - 時間帯によってはできる。
- c - いいえ

a-104	b-21	c-8
-------	------	-----

CT検査も各施設あまり差がなく高率でできる。

6.4.2.6 緊急に腸重積の整復が透視下で行える。

- a - はい
- b - 時間帯によってはできる。
- c - いいえ

a-66	b-44	c-23
------	------	------

この手技はどの施設でも出来るが、常時出来る施設は49%で、bと答えた施設は33%であった。緊急を要する疾患なので常時出来る施設がもう少し増えてほしい。

6.4.2.7 粘血便に対して便培養を行っている。

- a - はい
- b - 時間帯によっては施行する。
- c - いいえ

a-85	b-37	c-11
------	------	------

多くの施設では行っている状態がわかるが、簡単な検査なので時間帯によらなくても出来るようにしたい。

6.4.2.8 ボタン電池誤飲に対して、腹部X-P、胃透視を直ちに行うことができる。

- a - はい
- b - 時間帯によっては施行する。
- c - いいえ

a-95	b-31	c-7
------	------	-----

6.3.2の時とは回答に変化があるが、直ちに行う必要にないのかも知れない。

6.4.2.9 胃内のボタン電池を取り出すため、磁石のついたチューブを備えている。

a - はい

c - いいえ

a-20	c-111
------	-------

この設問に対する回答は低調で、必要を感じていないものと思われる。

6.4.3 医療機関に安全に搬送する。

6.4.3.1 地域もしくは院内に適切な外科診療を提供しうる専門医療機関がある。

a - はい

c - いいえ

a-132	c-5
-------	-----

各施設の近隣に外科診療を提供し得る専門医療機関は十分にあると思われる。

6.4.3.2 必要に応じて医師が同乗して患者を搬送する。

a - はい

b - 時間帯によっては施行する。

c - いいえ

a-117	b-16	c-2
-------	------	-----

患者の転院に対して医師の同乗は高率で行われている。

資料 I - 1 「救急医療機関の質的向上のための実態調査」【総論】結果

	三次救急施設	指定二次救急参画					指定二次救急非参画					全体		
		500床以上	200-499床	50-199床	50床未満	小計	500床以上	200-499床	50-199床	50床未満	小計			
		14	35	95	24	168	1	4	18	9	32			
返送のあった医療機関の数	17													
総病床数(床)	775	743	311	110	194	1,368	303	92	36	143	232			
一般	761	710	292	98	183	0	116	57	29	55	207			
その他	30	33	18	12	14	1,368	187	36	7	88	26			
救急受診患者数(人)														
時間外	20,578	11,869	6,647	2,549	4,237	836	548	704	384	604	4,941			
救急外来受診	18,673	13,189	7,080	2,315	4,386	467	207	608	33	418	5,330			
救急車台数(台)	4,846	4,874	2,190	1,181	1,678		65	176	44	121	1,697			
外来転帰(件)														
帰宅	16,182	9,078	4,940	2,127	3,134	467	346	702	270	525	3,653			
入院	2,330	2,542	1,191	460	750	577	88	101	54	107	789			
このうちICU/CCU	643	244	105	123	117						181			
外来死亡	139	37	11	7	10		1	2	1	1	18			
転送	118	98	25	28	30	98	35	5	4	14	34			
医師当直体制(人)														
平日夜間	22.3	13.0	3.2	1.3	2.7	5.0	1.3	1.4	1.3	1.4	4.0			
休日昼間	22.5	13.0	3.4	1.4	2.8	5.0	1.3	1.1	1.3	1.3	4.0			
休日夜間	22.3	13.2	3.3	1.4	2.7	5.0	1.3	1.1	1.3	1.3	4.0			
当直医師の中の常勤医師の割合(%)	90.0	84.0	70.6	36.5	47.9	70.0	61.3	23.7	29.7	31.7	48.7			
当直医師の平均経歴(年)														
常勤医	10.1	11.3	13.7	13.7	14.1		10.8	17.0	28.8	18.9	14.4			
非常勤医	5.3	6.7	6.5	7.2	7.1		3.8	8.5	7.3	7.8	7.2			
総救急外来患者数	317,445	184,640	247,817	219,967	736,912	467	828	10,951	297	13,365	1,156,527			
全体に占める割合	27.4%	16.0%	21.4%	19.0%	63.7%	0.0%	0.1%	0.9%	0.0%	1.2%	100.0%			
総救急車台数	82,385	68,231	76,654	112,217	281,903		261	3,164	400	3,867	368,318			
全体に占める割合	22.4%	18.5%	20.8%	30.5%	76.5%		0.1%	0.9%	0.1%	1.1%	100.0%			
救急外来患者	2.29	2.79	6.05	4.79	4.50	0.26	0.45	1.23	0.07	0.80	3.67			
救急車台数	0.59	1.03	1.87	2.45	1.72		0.14	0.36	0.10	0.23	1.17			

設問番号	全病院 (n=217)			三次救急 (n=17)			二次参画A(n=14)			二次参画B (n=35)			二次参画C (n=95)			二次参画D (n=24)			二次非参画 (n=32)				
	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数		
2.1.1	62	89	64	215	99.1%	13	2	2	10	3	1	10	19	6	22	47	25	3	9	12	4	9	18
2.2.1	65	106	43	214	98.6%	14	2	0	14	0	0	18	16	1	13	62	18	2	15	7	4	11	17
2.2.2	54	94	67	215	99.1%	14	0	2	10	3	1	14	16	5	12	56	27	1	15	8	3	4	24
2.2.3	48	80	88	216	99.5%	15	1	0	13	1	0	15	9	11	2	54	39	1	5	18	2	10	20
2.2.4	64	100	52	216	99.5%	15	1	0	14	0	0	25	10	0	7	66	22	1	8	15	2	15	15
2.2.5	127	66	23	216	99.5%	16	0	0	14	0	0	32	3	0	55	36	4	7	8	9	3	19	10
2.2.6	144	31	39	214	98.6%	15	0	12	1	1	1	31	1	3	62	17	16	11	5	8	13	7	11
2.3.1	79	116	22	217	100.0%	15	2	0	13	1	0	18	16	1	25	61	9	4	16	4	4	20	8
2.3.2	185	16	16	217	100.0%	16	1	0	14	0	0	34	1	0	81	11	3	22	0	2	18	3	11
2.3.3	61	109	46	216	99.5%	10	7	0	12	2	0	10	24	1	21	54	19	5	12	7	3	10	19
2.3.4	65	36	115	216	99.5%	16	1	0	12	0	2	11	8	16	20	18	56	4	3	17	2	6	24
2.3.5	105	77	34	216	99.5%	12	4	1	12	2	0	17	16	2	43	35	17	13	6	5	8	14	9
2.3.6	74	107	34	215	99.1%	10	7	0	7	0	0	12	19	4	34	45	16	8	12	3	3	17	11
2.4.1	52	25	135	212	97.7%	11	3	1	9	1	4	8	2	25	17	13	64	6	3	15	1	3	26
2.4.2	64	46	104	214	98.6%	14	2	0	12	1	1	24	3	8	13	23	59	0	13	11	1	4	25
2.4.3	54	47	110	211	97.2%	12	3	2	9	3	2	5	7	22	20	22	52	6	7	11	2	5	22
2.4.4	104	49	58	211	97.2%	12	3	1	11	3	0	17	3	14	45	26	24	11	7	6	8	7	13
2.4.5	98	90	23	211	97.2%	14	2	0	11	3	0	21	12	2	37	44	12	10	13	1	5	16	8
2.5.1	80	105	32	217	100.0%	10	6	1	7	5	2	8	17	10	28	56	11	17	6	1	10	15	7
2.5.2	135	3	76	214	98.6%	16	0	1	12	0	2	23	0	12	58	1	34	14	0	10	12	2	17
2.5.3	155	56	5	216	99.5%	15	2	0	12	0	0	24	11	0	68	26	1	18	5	1	18	10	3
2.5.4	139	67	9	215	99.1%	16	1	0	13	1	0	18	17	0	65	28	2	14	6	2	13	14	5
2.5.5	118	74	25	217	100.0%	16	0	1	11	3	0	13	14	8	54	36	5	14	7	3	10	14	8
2.5.6	97	98	22	217	100.0%	14	3	0	6	7	1	15	15	1	42	45	8	11	10	3	9	15	8
2.6	32	166	19	217	100.0%	8	9	0	3	9	2	4	28	3	12	80	3	4	15	5	1	25	6
2.7	185	28	4	217	100.0%	16	1	0	12	2	0	31	3	1	83	11	1	22	1	1	21	10	1
2.8	141	66	10	217	100.0%	16	1	0	14	0	0	29	6	0	64	30	1	13	9	2	5	20	7
2.9	164	41	9	214	98.6%	16	1	0	13	1	0	32	3	0	75	17	2	14	6	3	14	13	4
2.10.1	158	41	18	217	100.0%	14	3	0	14	0	0	33	1	1	68	17	10	14	9	1	15	11	6
2.10.2	131	63	22	216	99.5%	16	0	1	10	4	0	27	8	0	53	31	11	13	9	2	12	11	8
2.10.3	167	42	8	217	100.0%	17	0	0	14	0	0	32	3	0	73	20	2	18	4	2	13	15	4
2.11	89	87	39	215	99.1%	16	1	0	11	3	0	22	13	0	27	48	19	9	9	6	4	13	14
2.12	105	104	5	214	98.6%	14	3	0	12	2	0	15	19	0	51	43	1	8	13	3	5	24	1
2.13	199	12	3	214	98.6%	16	1	0	14	0	0	32	3	0	92	1	1	20	2	1	25	5	1
2.14	135	46	31	212	97.7%	12	4	1	11	2	1	29	4	1	53	26	16	16	6	2	14	4	10
3.1	50	138	27	215	99.1%	5	12	0	3	11	0	11	23	1	22	64	9	5	12	7	4	16	10
3.2	76	100	39	215	99.1%	12	2	3	11	2	1	10	20	5	28	53	14	9	10	5	6	13	11
4.1	214	0	1	215	99.1%	17	0	0	14	0	0	35	0	0	93	0	1	24	0	0	31	0	0
4.2	139	7	69	215	99.1%	16	0	1	13	0	1	26	1	8	53	6	35	17	0	7	14	0	17
4.3	201	0	14	215	99.1%	17	0	0	13	0	1	34	0	1	87	0	7	22	0	2	28	0	3
4.4	111	4	97	212	97.7%	13	0	2	12	0	2	21	0	14	42	2	51	11	2	9	12	0	19
4.5	195	0	21	216	99.5%	17	0	0	14	0	0	33	0	2	85	0	10	20	0	4	26	0	5
4.6	125	3	87	215	99.1%	11	0	5	7	2	5	21	0	14	61	1	33	12	0	12	13	0	18
4.7	210	2	4	216	99.5%	17	0	0	14	0	0	34	1	0	92	1	2	24	0	0	29	0	2
4.8	154	4	57	215	99.1%	16	0	1	13	1	0	23	1	10	65	2	28	19	0	5	18	0	13
4.9	188	4	24	216	99.5%	15	0	2	13	1	0	34	0	1	81	2	12	22	0	2	23	1	7
4.10	169	5	37	211	97.2%	15	0	2	13	0	1	28	1	4	75	3	17	16	0	6	22	1	7
4.11	115	93	6	214	98.6%	10	7	0	12	2	0	23	11	0	52	39	4	8	14	1	10	20	1

「救急医療機関の質的向上のための実態調査」【各論】結果

設問番号	全病院 (n=217)			三次救急 (n=17)			二次参画A (n=14)			二次参画B (n=35)			二次参画C (n=96)			二次参画D (n=24)			二次非参画 (n=32)		
	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数
1.1.1.1	75	49	57	181	83.4%	14	0	3	11	17	10	7	21	27	30	7	3	6	5	6	11
1.1.1.2	115	43	24	182	83.9%	17	0	0	11	25	8	1	43	33	12	12	3	2	7	7	8
1.1.1.3	85	46	52	183	84.3%	17	0	0	12	21	5	8	26	20	22	7	1	9	2	8	13
1.1.2.1	156	23	5	184	84.8%	17	0	0	13	27	6	1	69	8	2	15	1	1	15	7	1
1.1.2.2	136	40	7	183	84.3%	17	0	0	13	25	6	2	56	20	3	12	4	1	13	9	1
1.1.2.3	135	40	8	183	84.3%	17	0	0	12	30	4	0	58	18	3	12	2	3	6	14	2
1.1.2.4	130	42	10	182	83.9%	17	0	0	12	30	4	0	53	20	5	12	2	3	6	14	2
1.1.2.5	131	39	14	184	84.8%	16	1	0	13	24	8	2	56	14	9	14	2	1	8	13	2
1.1.3.1	168	9	4	181	83.4%	16	0	0	14	0	0	32	1	3	1	15	1	1	17	4	1
1.1.3.2	165	10	6	181	83.4%	16	0	0	14	0	0	32	1	1	2	15	1	1	16	4	2
1.1.3.3	166	15	1	182	83.9%	16	0	0	14	0	0	32	2	5	0	16	0	1	15	8	0
1.1.3.4	113	62	4	179	82.5%	15	1	0	10	4	0	21	13	0	13	1	2	4	17	2	2
1.1.3.5	139	31	9	179	82.5%	14	2	0	11	3	0	28	3	12	1	12	2	2	11	9	3
1.1.3.6	158	19	4	181	83.4%	16	0	0	14	0	0	33	1	0	67	9	2	14	9	0	0
1.1.3.7	162	15	3	180	82.9%	16	0	0	14	0	0	33	0	1	68	8	1	19	4	4	0
1.1.3.8	124	22	36	182	83.9%	17	0	0	13	1	0	24	3	9	16	11	1	5	7	8	8
1.1.4.1	163	15	5	183	84.3%	17	0	0	13	1	0	30	2	8	2	16	0	1	19	4	0
1.1.4.2	49	74	58	181	83.4%	13	3	1	9	5	0	11	13	10	14	29	1	7	8	1	12
1.1.4.3	139	30	9	178	82.0%	17	0	0	14	0	0	30	4	0	58	14	1	2	8	11	2
1.1.4.4	82	23	78	183	84.3%	16	1	0	13	1	0	19	8	7	44	4	2	11	3	4	16
1.1.4.5	81	14	87	182	83.9%	16	0	0	13	1	0	20	5	9	47	4	0	13	3	2	18
1.1.4.6	110	50	16	176	81.1%	16	0	0	13	1	0	28	0	0	40	29	6	3	5	11	5
1.1.5.1	142	24	7	173	79.7%	16	0	0	14	0	0	29	4	0	59	12	3	1	11	7	3
1.1.5.2	156	16	5	177	81.6%	16	0	0	13	1	0	32	2	0	69	6	2	1	14	5	2
1.1.5.3	85	29	62	176	81.1%	11	0	5	11	2	1	21	2	11	29	15	32	8	3	4	5
1.1.5.4	71	97	5	173	79.7%	11	5	0	7	7	0	15	17	1	29	43	2	4	9	2	5
1.1.6.1	119	10	43	172	79.3%	10	0	6	11	1	1	30	0	4	52	4	19	7	2	6	9
1.1.6.1.1	120	2	57	179	82.5%	14	0	2	12	0	1	31	0	3	50	0	27	5	0	12	8
1.1.6.1.2	57	3	119	179	82.5%	11	0	5	9	1	3	20	0	14	12	2	63	0	14	2	0
1.1.6.1.3	60	5	114	179	82.5%	10	1	5	11	1	1	19	0	15	3	62	3	0	14	5	0
1.1.6.2	111	4	59	174	80.2%	9	0	6	11	1	0	21	0	12	48	2	26	9	0	8	13
2.1.1	176	1	19	196	90.3%	16	0	1	14	0	0	34	0	1	77	1	9	15	0	2	0
2.1.2	174	22	0	196	90.3%	17	0	0	14	0	0	34	1	0	82	5	0	16	1	0	11
2.1.3	184	0	12	196	90.3%	17	0	0	14	0	0	34	0	1	79	0	8	17	0	0	23
2.1.4	74	4	118	196	90.3%	14	0	3	9	0	5	6	1	28	32	2	54	5	0	12	8
2.1.5	57	2	137	196	90.3%	13	0	4	7	0	7	8	0	27	23	2	63	3	0	13	3
2.1.6	100	46	49	195	89.9%	16	0	1	12	0	2	23	9	3	38	26	24	7	5	4	4
2.1.7	153	34	9	196	90.3%	17	0	0	13	1	0	34	1	0	73	13	1	10	4	3	6
2.2.1	45	117	26	188	86.6%	10	6	1	5	8	1	5	26	2	18	53	12	6	4	1	18
2.2.2	41	118	24	183	84.3%	3	11	1	5	9	0	8	24	1	15	53	13	5	7	4	5
2.2.3	130	31	30	191	88.0%	16	0	1	14	0	0	23	7	5	57	14	13	10	3	3	10
2.2.4	179	14	1	194	89.4%	17	0	0	14	0	0	34	1	0	79	4	1	16	0	0	19
2.2.5	154	19	14	187	86.2%	17	0	0	14	0	0	28	4	2	71	6	6	8	4	2	16
2.2.6	164	2	23	189	87.1%	17	0	0	14	0	0	32	0	2	71	1	13	12	0	3	18
2.2.7	165	4	17	186	85.7%	17	0	0	13	0	0	32	0	3	73	2	9	12	0	2	18
2.2.8	172	3	12	187	86.2%	17	0	0	14	0	0	34	0	1	77	2	6	12	0	1	18
2.2.9	96	80	14	190	87.6%	17	0	0	12	2	0	22	13	0	32	46	7	3	7	5	10
2.2.10	84	83	17	184	84.8%	16	0	0	13	1	0	20	15	0	29	44	9	3	9	1	3
2.2.11	162	2	25	189	87.1%	15	0	1	12	1	1	32	0	3	68	1	16	15	0	0	20
2.2.12	119	4	63	186	85.7%	10	0	6	7	1	6	17	0	17	52	3	29	11	0	3	22
2.2.13	126	47	15	188	86.6%	16	0	0	12	2	0	27	7	1	54	25	6	10	3	1	7

設問番号	全病院 (n=217)			三次救急 (n=17)			二次参画A (n=14)			二次参画B (n=35)			二次参画C (n=95)			二次参画D (n=24)			二次非参画 (n=32)			
	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	aの数の数	bの数の数	cの数の数	
3.1.1	147	1	38	186	15	0	1	13	0	0	31	0	2	62	0	21	14	0	1	12	1	13
3.1.2	135	1	53	189	14	1	1	13	0	1	25	0	9	60	0	23	11	0	5	12	0	14
3.1.3	165	29	0	194	16	0	0	14	0	0	34	1	0	78	8	0	15	1	0	8	19	0
3.1.4	176	1	14	191	16	0	0	14	0	0	34	0	1	76	0	7	15	0	1	21	1	5
3.1.5	183	1	8	192	16	0	0	14	0	0	35	0	0	81	0	3	14	0	2	23	1	3
3.1.6	112	0	80	192	15	0	1	13	0	1	17	0	18	39	0	45	10	0	6	18	0	9
3.1.7	71	101	20	192	10	6	0	10	4	0	19	15	1	19	51	14	5	9	2	8	16	3
3.1.8	54	113	25	192	9	7	0	6	7	1	16	16	3	14	55	15	3	10	3	6	18	3
3.1.9	52	108	31	191	8	9	0	7	7	0	18	12	5	13	53	17	2	12	2	4	15	7
3.1.10	49	101	42	192	8	6	2	9	4	1	15	14	6	12	52	20	2	10	4	2	15	9
3.2.1	40	132	18	190	8	9	0	6	7	1	2	31	2	17	58	8	4	10	2	3	17	5
3.2.2	111	3	3	188	12	5	0	8	6	0	10	25	0	33	48	1	6	8	1	5	19	1
3.2.3	56	122	10	188	14	3	0	5	9	0	7	28	0	20	56	6	5	7	3	5	19	1
3.2.4	133	2	48	183	14	0	3	9	1	3	22	0	11	60	1	21	11	0	3	17	0	7
3.2.5	129	6	49	184	13	0	3	8	2	2	31	0	3	55	3	25	9	0	6	13	1	10
3.2.6	180	1	2	183	16	0	0	12	0	0	34	0	0	81	1	1	14	0	0	23	0	1
3.2.7	166	3	11	180	16	0	0	11	1	0	30	0	4	78	1	1	13	0	1	18	1	4
3.2.8	159	3	16	178	16	0	0	10	1	1	31	0	2	71	1	8	14	0	0	17	1	5
3.2.9	110	65	10	185	12	3	1	9	3	1	28	5	2	42	38	3	8	6	0	11	10	3
3.2.10	179	0	6	185	16	0	0	13	0	0	33	0	2	82	0	1	12	0	2	23	0	1
3.2.11	158	1	25	184	15	0	1	13	0	0	30	0	5	70	1	11	12	0	2	18	0	6
4.1	197	0	1	198	16	0	0	14	0	0	35	0	0	89	0	1	16	0	0	27	0	0
4.2.1	39	65	92	196	7	4	5	7	2	5	5	8	21	15	36	38	3	7	6	2	8	17
4.2.2	74	54	66	194	10	4	2	10	2	2	15	7	12	29	31	29	5	3	6	5	7	15
4.2.3	177	1	13	191	16	0	0	13	0	1	32	0	3	83	1	3	12	0	3	21	0	3
4.2.4	190	1	4	195	16	0	0	14	0	0	34	0	1	86	1	1	14	0	1	26	0	1
4.3.1	164	2	26	192	16	0	0	13	0	1	32	0	3	75	2	10	10	0	6	18	0	6
4.3.2	142	53	6	201	17	0	0	14	0	0	34	1	0	58	30	2	13	3	1	6	19	3
4.3.3	154	45	2	201	17	0	0	13	1	0	32	3	0	66	23	1	12	4	1	14	14	0
4.3.4	171	29	0	200	17	0	0	14	0	0	34	1	0	79	11	0	16	1	0	11	16	0
4.3.5	153	37	9	199	17	0	0	14	0	0	34	1	0	73	15	1	9	5	3	6	16	5
4.3.6	122	68	9	199	16	1	0	13	1	0	26	9	0	51	34	4	9	6	2	7	17	3
4.3.7	114	74	11	199	17	0	0	12	2	0	27	8	0	45	39	5	6	8	3	7	17	3
4.3.8	81	76	39	196	15	2	0	9	4	1	21	14	0	33	40	15	2	6	9	1	10	14
4.3.9	52	71	75	198	15	2	0	9	4	1	12	20	3	15	35	39	0	3	14	1	7	18
4.3.10	141	12	45	198	17	0	0	14	0	0	34	0	0	60	7	22	6	2	9	10	3	13
4.4.1	191	1	3	195	15	0	0	13	0	0	32	0	2	88	1	0	16	0	1	27	0	0
4.4.2	185	0	10	195	14	0	1	12	0	1	32	0	2	86	0	3	16	0	1	25	0	2
4.4.3	188	1	9	198	16	0	0	11	0	2	32	1	1	86	0	4	16	0	1	27	0	1
5.1.1	48	90	57	195	12	5	0	3	6	5	5	16	12	20	44	24	4	9	8	4	10	8
5.1.2	49	101	39	189	17	0	0	9	4	1	7	18	7	13	55	18	1	13	5	2	11	8
5.2.1	43	2	145	190	8	1	8	6	0	7	4	0	29	16	1	69	5	0	14	4	0	18
5.2.2	70	2	116	188	14	0	3	8	0	5	9	0	24	29	1	55	6	0	12	4	1	17
5.3.1	178	1	12	191	17	0	0	14	0	0	31	0	1	83	1	3	16	0	3	17	0	5
5.3.2	138	4	46	188	17	0	0	12	0	2	22	1	9	59	3	23	14	0	5	14	0	7
5.3.3	182	4	5	191	17	0	0	14	0	0	29	1	2	83	3	1	18	0	1	21	0	1
5.3.4	166	25	1	192	17	0	0	13	1	0	28	4	0	75	12	0	14	4	1	19	4	0
5.3.5	180	10	1	191	17	0	0	14	0	0	32	0	0	82	5	0	19	0	0	16	5	1
5.3.6	144	39	8	191	17	0	0	13	1	0	29	3	0	72	14	1	9	5	5	4	16	2
5.3.7	49	63	79	191	14	3	0	8	6	0	10	19	3	16	27	44	0	2	17	1	6	15

設問番号	全病院 (n=217)			三次救急 (n=17)			二次参画A(n=14)			二次参画B (n=35)			二次参画C (n=95)			二次参画D (n=24)			二次非参画 (n=32)				
	aの数	bの数	cの数	返答病院数	返答率	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数	aの数	bの数	cの数			
5.4.1	180	4	7	191	88.0%	15	0	0	13	1	1	28	0	3	85	1	1	18	0	1	21	2	1
5.4.2	177	3	12	192	88.5%	16	0	0	12	0	2	28	0	3	82	2	4	18	0	1	21	1	2
5.5	78	55	59	192	88.5%	14	1	1	7	3	4	14	9	8	28	31	29	8	4	7	7	10	
5.6.1	129	3	38	170	78.3%	15	0	1	11	1	1	21	0	8	56	1	19	11	0	6	15	1	3
5.6.2	155	0	17	172	79.3%	15	0	1	13	0	1	28	0	2	62	0	12	16	0	1	21	0	0
5.6.3	153	1	19	173	79.7%	17	0	0	14	0	0	25	0	4	69	1	7	13	0	4	15	0	4
5.6.4	162	0	12	174	80.2%	17	0	0	14	0	0	27	0	2	73	0	4	14	0	3	17	0	3
5.6.5	160	1	12	173	79.7%	16	0	1	14	0	0	29	0	4	72	1	4	14	0	3	15	0	4
5.6.6	136	1	30	167	77.0%	16	0	0	13	0	0	27	0	2	56	1	17	9	0	8	15	0	3
5.6.7	151	2	14	167	77.0%	17	0	1	13	1	1	27	0	1	64	1	8	13	0	4	17	0	1
5.6.8	142	5	21	168	77.4%	16	1	0	11	2	1	27	0	1	65	2	8	11	0	6	12	0	5
5.7.1	155	2	9	166	76.5%	17	0	0	13	0	0	29	0	1	65	2	4	14	0	2	17	0	2
5.7.2	154	2	10	166	76.5%	17	0	0	12	0	1	28	0	1	66	2	4	14	0	2	17	0	2
5.7.3	144	3	18	165	76.0%	17	0	0	11	1	1	29	0	0	61	2	10	13	0	3	13	0	4
5.8.1	148	4	18	170	78.3%	17	0	0	12	1	0	26	0	5	67	0	5	10	0	5	16	0	3
5.8.2	127	4	40	171	78.8%	16	0	1	10	1	1	28	0	3	55	3	18	7	0	9	11	0	8
5.8.3	156	0	15	171	78.8%	17	0	0	13	0	0	30	0	1	71	0	4	11	0	5	14	0	5
5.9.1	129	3	48	180	82.9%	17	0	0	12	0	1	26	0	5	53	2	25	11	0	8	10	1	9
5.9.2	171	1	12	184	84.8%	17	0	0	13	0	0	29	0	2	79	0	5	17	0	2	17	1	3
5.9.3	177	1	3	181	83.4%	17	0	0	13	0	0	31	0	0	79	0	3	19	0	0	19	1	0
5.9.4	108	5	72	185	85.3%	16	0	1	12	0	1	26	0	5	41	4	38	8	0	12	5	1	15
5.9.5	183	1	1	185	85.3%	17	0	0	13	0	0	29	1	1	82	0	0	20	0	0	22	0	0
5.9.6	145	6	22	173	79.7%	17	0	0	11	1	0	29	0	1	82	4	12	16	0	2	10	1	7
5.9.7	184	0	3	187	86.2%	17	0	0	13	0	0	30	0	1	82	0	1	21	0	0	21	0	1
5.9.8	167	2	17	186	85.7%	16	0	1	13	0	0	30	0	1	73	1	9	19	0	1	16	1	5
5.9.9	171	0	14	185	85.3%	16	0	1	13	0	0	30	0	0	77	0	6	18	0	1	17	0	5
5.9.10	117	10	48	175	80.6%	16	0	1	10	2	0	22	1	8	49	7	22	12	0	7	8	0	10
5.9.11	101	6	70	177	81.6%	16	0	0	10	2	1	22	0	9	40	3	36	9	0	10	4	1	14
5.9.12	93	6	73	172	79.3%	15	0	1	8	2	2	22	0	8	36	3	37	9	0	10	3	1	15
5.9.13	91	5	79	175	80.6%	15	0	1	5	1	6	22	0	9	34	3	40	10	0	9	5	1	14
6.1.1	64	47	27	138	63.6%	16	1	4	13	0	0	11	13	4	16	22	16	5	5	2	3	6	5
6.1.2	28	39	71	138	63.6%	5	9	3	6	4	3	7	8	13	8	10	36	1	4	7	1	4	9
6.1.3	23	54	61	138	63.6%	8	6	3	8	3	2	4	17	7	3	19	32	0	5	7	0	4	10
6.1.4	89	1	46	136	62.7%	17	0	0	11	0	2	20	0	8	27	1	26	9	0	3	5	0	7
6.1.5	122	1	13	136	62.7%	17	0	0	13	0	0	27	0	1	43	1	9	12	0	0	10	0	3
6.1.6	82	29	8	119	54.8%	11	1	0	7	1	1	14	6	1	36	13	3	8	2	2	6	6	1
6.1.7	107	2	27	136	62.7%	16	0	1	12	0	1	26	0	2	36	2	16	8	0	4	9	0	3
6.1.8	78	1	56	135	62.2%	14	0	3	8	0	5	18	0	10	23	1	29	7	0	5	8	0	4
6.2.1.1	44	43	50	137	63.1%	16	1	0	9	3	1	8	15	5	6	17	30	2	3	7	3	4	7
6.2.1.2	43	33	60	136	62.7%	14	0	3	9	1	3	8	11	9	7	16	30	3	2	7	2	3	8
6.2.1.3	43	40	51	134	61.8%	16	1	0	9	4	0	10	12	6	5	16	31	2	3	7	1	4	7
6.2.2.1	99	13	17	129	59.4%	17	0	0	12	0	0	18	6	2	37	5	8	8	0	3	7	2	4
6.2.2.2	108	10	14	132	60.8%	17	0	0	13	0	0	21	5	1	42	2	7	8	1	2	7	2	4
6.2.2.3	85	29	18	132	60.8%	16	1	0	12	1	0	13	13	1	37	6	8	4	4	3	3	4	6
6.2.2.4	86	27	18	131	60.4%	14	3	0	9	2	1	15	10	2	37	7	7	7	1	1	3	4	5
6.2.2.5	99	14	17	130	59.9%	17	0	0	11	1	0	20	6	1	38	3	9	6	2	3	7	2	4
6.2.2.6	104	15	12	131	60.4%	17	0	0	12	1	0	20	6	1	40	4	6	7	1	3	8	3	2
6.2.2.7	59	16	55	130	59.9%	17	0	0	12	0	1	5	6	16	17	8	26	5	1	4	3	1	8
6.2.3.1	80	31	18	129	59.4%	17	0	0	11	1	0	13	13	1	28	11	10	6	1	4	5	5	3
6.2.3.2	55	38	36	129	59.4%	16	0	1	11	1	1	7	17	3	14	17	18	4	1	6	3	2	8
6.2.3.3	71	29	30	130	59.9%	17	0	0	12	0	1	12	11	4	21	13	15	6	1	4	3	2	6

設問番号	全病院 (n=217)			三次救急 (n=17)			二次参画A (n=14)			二次参画B (n=35)			二次参画C (n=96)			二次参画D (n=24)			二次非参画 (n=32)				
	aの数の数	bの数の数	cの数の数	返答病院数	返答率	aの数の数	bの数の数	cの数の数															
6. 2. 4. 1	57	61	18	136	62.7%	16	1	0	13	0	0	9	19	1	13	26	11	4	7	2	8	4	
6. 2. 4. 2	56	55	24	135	62.2%	16	1	0	12	1	0	10	18	1	13	23	13	4	5	4	1	7	6
6. 2. 4. 3	64	53	19	136	62.7%	17	0	0	13	0	0	14	15	0	15	23	12	4	6	3	1	9	4
6. 2. 4. 4	33	68	34	135	62.2%	10	7	0	7	6	0	4	23	2	8	23	19	3	5	5	1	4	8
6. 2. 4. 5	103	19	14	136	62.7%	17	0	0	13	0	0	25	4	0	38	5	7	8	3	2	2	7	5
6. 3. 1	58	41	29	128	59.0%	16	1	0	11	2	0	11	13	4	15	19	14	2	3	5	3	3	6
6. 3. 2	110	19	5	134	61.8%	17	0	0	13	0	0	26	2	0	43	6	3	9	1	1	2	10	1
6. 3. 3	119	0	13	132	60.8%	17	0	0	13	0	0	26	0	2	45	0	6	10	0	1	8	0	4
6. 3. 4	125	1	8	134	61.8%	17	0	0	13	0	0	28	0	0	48	0	2	10	0	2	10	0	3
6. 3. 5	68	1	63	132	60.8%	12	0	5	11	0	2	12	0	16	22	1	28	5	0	6	6	0	6
6. 3. 6	103	4	23	132	60.8%	16	1	0	12	1	0	25	0	3	33	2	16	7	0	3	10	0	3
6. 3. 7	52	61	20	133	61.3%	13	4	0	9	4	0	14	11	3	11	29	11	2	6	3	3	7	3
6. 3. 8	51	52	30	133	61.3%	13	3	1	9	4	0	17	8	3	9	25	17	2	4	5	1	8	4
6. 3. 9	28	69	34	131	60.4%	9	7	0	5	6	1	20	7	1	27	15	3	4	4	1	1	5	7
6. 3. 10	102	2	24	128	59.0%	14	0	1	11	0	1	22	0	6	36	2	12	8	0	2	11	0	2
6. 3. 11	94	4	31	129	59.4%	16	0	0	10	1	1	24	0	4	29	2	19	6	0	4	9	1	3
6. 3. 12	115	1	13	129	59.4%	15	0	1	12	0	0	28	0	1	39	0	10	9	0	1	12	0	1
6. 3. 13	94	1	32	127	58.5%	16	0	0	11	0	1	26	0	2	26	1	21	7	0	3	8	0	5
6. 3. 14	103	2	22	127	58.5%	16	0	0	11	1	0	24	0	4	34	1	14	8	0	2	10	0	2
6. 3. 15	111	2	16	129	59.4%	15	0	0	11	1	0	24	0	4	39	1	9	9	0	1	13	0	2
6. 3. 16	71	31	25	127	58.5%	16	0	0	11	1	0	15	11	2	17	14	18	8	0	2	4	5	3
6. 3. 17	105	1	21	127	58.5%	16	0	0	12	0	0	26	0	2	33	1	15	7	0	3	11	0	1
6. 3. 18	113	1	13	127	58.5%	16	0	0	12	0	0	27	0	1	38	1	11	9	0	1	11	0	0
6. 4. 1	80	1	49	130	59.9%	16	0	0	11	0	1	20	0	8	19	1	28	5	0	5	9	0	7
6. 4. 2. 1	25	34	71	130	59.9%	9	4	3	5	1	6	2	8	18	8	13	27	1	3	6	0	5	11
6. 4. 2. 2	102	24	7	133	61.3%	17	0	0	13	0	0	25	3	0	33	12	4	8	2	0	6	7	3
6. 4. 2. 3	86	41	6	133	61.3%	17	0	0	10	3	0	16	12	0	31	13	5	7	2	1	5	11	0
6. 4. 2. 4	114	16	3	133	61.3%	17	0	0	13	0	0	26	2	0	44	2	3	9	1	0	5	11	0
6. 4. 2. 5	104	21	8	133	61.3%	17	0	0	12	1	0	26	2	0	42	4	3	5	4	1	2	10	4
6. 4. 2. 6	66	44	23	133	61.3%	16	1	0	11	1	1	16	12	0	16	21	12	4	2	4	3	7	6
6. 4. 2. 7	85	37	11	133	61.3%	16	1	0	12	1	0	18	9	1	24	18	7	7	2	1	8	6	2
6. 4. 2. 8	95	31	7	133	61.3%	15	2	0	12	0	1	18	8	2	37	8	4	7	3	0	6	10	0
6. 4. 2. 9	20	1	111	132	60.8%	7	0	9	5	0	8	1	0	27	6	1	43	1	0	9	0	0	15
6. 4. 3. 1	132	0	5	137	63.1%	17	0	0	13	0	0	26	0	2	48	0	3	10	0	0	18	0	0
6. 4. 3. 2	117	16	2	135	62.2%	17	0	0	12	1	0	24	4	0	42	7	2	9	1	0	13	3	0

資料 3

救急医療評価サーベイ実施報告書（A病院）

救急医療評価サーベイ実施報告書

全体評価 B

総括

【はじめに】

本サーベイの評価所見を述べるにあたり、貴院が一般的な急性期病院と多少とも異なっているように思われる二点を挙げる。以下に述べる意見を理解して頂くにあたりこのことが役立つと考える。一つは言わば経営の戦略について貴院が極めて優秀な実績を誇っておられるということであり、他は地域の二次救急医療機関として救急医療を実践するにあたり救急専門医を主軸に置いた体制であるということである。

まず、前者について触れておきたい。貴院は全 162 床で内 ICU6 床、開放病床 8 床を持ち、“Right time, Right place, Right care at the lowest price” の医療を実践すべく建物、設備、医療機器の充実を実現され、医師常勤 22 名、非常勤 33 名、看護職員常勤 97 名、放射線技師常勤 11 名を雇用するなど、十分な職員をも擁している。これらが救急医療を行なう人的物的な資源となっている。マンパワーの問題と診療報酬による収入の問題をどのように解決するかが今後の重要な課題の一つであるが、法人として様々な工夫と努力により、紹介率 90%という地域医療支援病院として診療報酬上で急性期病院としての最高水準を取得していることは高い評価に値する。貴院においては救急医学専門医 1 人当たり実に約 3 日に 1 回の割合で当直するという激務であり、労務管理の面で今後解決すべき厳しさはあるものの、健全な経営を維持しているように思われる。

さて、救急医療そのものについては救急部長以下 3 名の救急専門医がまずは 1st call によって初療を行い、その後に各科の専門医がコンサルテーションに応じるという方法である。貴院はこのような救急専門医を前面に押し立てた救急医療を 10 年余にわたり行なっている。具体的には紹介あるいは予約以外の患者は救急外来が担当し、ここでは看護師のトリアージが行なわれ、別クリニックの外来に廻る患者を除いて全ての急性期患者は救急専門医の一次診療の対象となる。この方式によれば、他科の医師は不定期の救急診療に煩わされることが少なくなり、外来、入院あるいは予定手術などの本来業務に専念でき、本来業務を遂行する上で効率の向上が期待される。救急専門医だけで処置が困難な場合には各科の専門医のコンサルトが円滑に行なわれる体制の整備が進められてきたものと推察される。

以上のことから、例え“200 床以下”の病院であっても、地域ニーズに適応した診療体制を組めば、十分に質の高い救急医療を地域で担うことができる可能性を貴院が示しているものと考えられる。

【特によい点】

全体的な評価として貴院は地域で要求されている二次救急医療を充分果たしていると思われた。しかも、時間帯により潜在的にはいわゆる三次救急的な患者にも対処できるものと思われた。こ